

氷上特別支援学校

提案タイトル	「丹波市がもっと暮らしやすい「まち」になるために」
提案概要	(1) スーパーや娯楽施設などお店が増えれば楽しい。 (2) ゴミ袋を安くしてほしい。 (3) 水道代が安くなればうれしい。 (4) 人口が減らないようにしてほしい (5) 犯罪のない安心快適な暮らしがしたい。

1 スーパーや娯楽施設などお店が増えれば楽しい。

丹波市においては、大型のショッピングセンターが複数あり、旧町域にも、スーパーがあります。また、近年では複合的に医薬品の販売を含むドラッグストアや、日用雑貨、住宅関連商品を販売するホームセンターも増えています。また、個人でも様々な店舗があり、丹波市商工会では「にじいろタブレット」や、丹波市観光協会でも紹介している店舗などもあります。

ご提案していただいている「スーパー」がどの程度の規模なのかはわかりませんが、一カ所ですべてを集約するには、丹波市の面積規模においては、今いる（居住）場所から購入時の移動負担が少なく、近いことも必要と思います。日常的な購入と特別な購入時とを区別する購入方法はいかがでしょうか。

また、個々での商売だけでなく、それぞれの店舗が連携することにより、丹波市内を一つのマーケットと捉えることで、情報がつながれば移動如何によっては、大きな周遊連携に繋がることに期待しています。

過去には、議会でも若者の遊び（集い）の場として、設置の必要性が訴えられましたが、実現には至っておりません。ぜひ、高校生からも設置に向けた希望の声を上げていただきたいと思います。

2 ゴミ袋を安くしてほしい。

燃やすごみ袋半額化の議案が、6月議会で提案され可決されましたので、10月1日より燃やすごみ袋が半額になります。

3 水道代が安くなればうれしい。

確かに丹波市の水道料金は高いですね。実は兵庫県下では6番目の高さです（ちなみに下水道料金は4番目、上下水道合わせると3番目に高い料金です）。

高い水道料金を安くしてほしいという市民の意見は他からも聞いています。ただ丹波市は面積が大きい分、水道管の総延長が長く、水漏れの補修工事などの経費が多くかかっています。水道料金を安くできればよいですが、なかなか難しい現実があるようです。

4 人口が減らないようにして欲しい

丹波市では今、人口が減っていく中で、どうすれば魅力的で住みやすいまちづくりができるか、真剣に考えています。そのために、「第3期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略」と「第3期丹波市総合計画」という2つの重要な計画を作っています。

これらの計画は、皆さんの将来に大きく関わります。例えば、高校を卒業した後の進路や、将来丹波市で暮らすかどうかなど、皆さんの人生に影響するかもしれません。

計画を作る際には、多くの市民の方々から意見を集めてきました。そして、まもなく「第3期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略」の概要が発表されます。

高校生の皆さんは、丹波市の未来を担う大切な存在です。どんな丹波市に住みたいか、どんな未来を描いているか、率直な意見を聞かせてください。皆さんの声が、よりよい丹波市づくりにつながります。ぜひ、この機会に自分の意見を伝えてみてください。

5 犯罪のない安心快適な暮らしがしたい。

犯罪のない安心安全快適な暮らしは、誰もが望むことであると考えます。近年は特殊詐欺事件が丹波市内でも発生しており、市民一人ひとりがだまされないよう気を付けなくてはならないところです。困った時には、家族や地域でつながり、相談できることが大切です。また、警察も犯罪防止や、取り締まりに努力頂いています。市民も意識高く、犯罪防止に務めていく必要があります。

A 班

提案タイトル	「空き家を活用して猫カフェを作ろう」
提案概要	(1) 空き家利活用事業補助金の増額

個人や業者が空き家利活用するには、上限 50 万円となっており、検討する必要も考えられます。今回の高校生の提案はタイミングの良いものだと思います。空き家を減らす努力を丹波市も市民もすべきです。

猫カフェについては、猫の殺処分を減らすことに貢献すると思いますが、事業者が営業するには経営の面から難しい点もあります。猫カフェをやってみたい人を市民が応援できると良いと思います。

B 班

提案タイトル	「TAMBACKS の実現」
提案概要	(1) 駅近くの耕作放棄地等を探してほしい。 (2) 本の入手先（図書館から本をもらったりする手続きの支援）

1 駅近くの耕作放棄地等を探してほしい。

TAMBACKS を駅近くの耕作放棄地に作り高校生から大人までが集まり勉強ができたり、特産品加工品の販売ができたりする施設が欲しいとのご意見かと思えます。

柏原駅の南側(北中地内)にも耕作放棄地があり、黒豆や小豆を栽培されていますが、耕作放棄地は、あくまでも農地でありますのでそこに建物をすぐに作ることは法律上できません。高校生の皆様が耕作放棄地で野菜を作られるのであれば何か所かありますのでご紹介いたします。耕作放棄地でTAMBACKSを計画するより、駅近の空き店舗や古民家を活用し販売所や勉強スペースを計画される提案なども良いのではないのでしょうか。

柏原駅の近くにも空き店舗や空いている古民家も結構ありますので、ご案内は可能です。

2 本の入手先（図書館から本をもらったりする手続きの支援）

学校図書館図書廃棄基準が2021年12月1日改訂されました。一般的な廃棄基準の一つとして「受入後10年経過した図書」が設けられました。一方で、丹波市立公共図書の図書廃棄基準は市に対して確認が必要です。図書館から本を受け入れた場合の手続きとその後の保管・管理・処分について整理が必要だと考えられます。ただし、廃棄される図書の有効活用として高校生から提案のあった取組は、SDGs としても興味深いものだと考えます。

C班

提案タイトル	「高校の魅力を地域へ 高校の壁を越えた発信を」
提案概要	(1) 若者の活動を応援する条例をつくってほしい

高校の魅力発信と交流促進は、地域活性化にとって重要な課題であり、若者の声を反映したまちづくりは不可欠です。雲南市や新城市の事例を参考に、若者の活動を支援する条例の制定が考えられます。

条例制定にあたっては、「若者」の定義や範囲、主体をどこに置くかなど、慎重に検討する必要があります。最も重要なのは、皆さんをはじめとする若者の声を広く集め、その思いや意見を反映させることです。若者が主体的に参加し、継続的に行動できる仕組みづくりが大切です。今後も皆さんの積極的な参加と提案を期待しています。

D班

提案タイトル	「若者の「遊び・交流の場」をつくりたい」
提案要素	(1) 丹波市の廃校に企業を誘致し、小学生と高校生が交流できる遊びをつくる

廃校活用は丹波市の重要課題であり、皆さんの提案は新たな魅力創出と賑わいづくりに繋がる可能性を秘めています。神楽小学校での成功事例や、現在進行中の未利用公共施設に関する民間提案募集なども参考にしながら、企業誘致の難しさを認識しつつも、研究を続けていきたいと思えます。小学生と高校生の交流の場を設けるという発想は、地域愛を育む素晴らしいアイデアであり、今後も皆さんが主体となって交流イベントの企画を提言していただければと思います。

議会としては、廃校活用に若者の声を取り入れることを重視するなど、子育て世代のニーズにも応える屋内遊技場の研究もしたいと思えます。皆さんの提案は、丹波市に住み続けたいと思える新しい魅力づくりに大きく貢献する可能性があり、今後さらに具体化し、後輩たちにも引き継いでいただけることを期待しています。

E 班

提案タイトル	「柏高の食堂を通して丹波市の制度を考える。SYMBOTIC SOCIETY」
提案要素	(1) 地域の方や高校生など交流できる場所の提供 (2) 障がい、国籍、年齢に関係なく丹波の一員として語り合える場の提供

現在使用されていない柏原高校の食堂を活用し、地域の人々との交流の場をつくること、さらに障がい・国籍・年齢に関係なく語り合える場を古民家・空き家・廃校の活用で提供することは、素晴らしい提案です。

食堂の再開や購買については、学校と事業者の交渉により実現の可能性があります。ただし、柏原高校が県の所管であるため、市の直接的な介入は難しい状況です。そこで、皆さんが生徒会として高校に提案することも一つの方法として考えられます。

「共生のまち」としての展開を目指す場合、公共施設の活用が現実的な選択肢となるでしょう。議会としては、高校生の皆さんが集う場を求めていること、また面積の広い丹波市では若者が集まる場所の確保が難しいと感じているという重要な指摘を市長に伝達いたします。

今後も若者の声を積極的に取り入れながら、多様性を尊重し、すべての市民が交流できる場の創出に向けて、議会として取り組んでまいります。